

ロボマラソン in 大阪 開催概要

*必ず下記の内容をお読みいただき、趣旨・内容に同意いただいた上、お申込みください。

【大会名称】

ロボマラソン in 大阪

【主催】

大阪府/財団法人大阪労働協会(運営)

【協力・協賛・後援】(50音順)

株式会社アジア太平洋トレードセンター/ヴイストーン株式会社/大阪府立大学工業高等専門学校/常翔学園
大阪工業大学/株式会社ダイセン電子工業/でんでんタウン協栄会/ロボットラボラトリー

【趣旨・目的】

本大会は平成23年10月30日(日)に開催される、「第1回 大阪マラソン2011」のプレイベントとして実施するとともに、大阪府民を中心とした一般来場者のロボット分野・ものづくり分野の興味を引き出すことで、今後の当該分野の核を担う人材の育成・啓発を図ることを目的として開催いたします。

【競技概要】

○二足歩行ロボットによるマラソン競技

(距離別に設定された下記の3つのコースから、エントリーするコースを選択ください。)

距離		走行回数	チーム数
① 422m 走	(短距離/フルマラソンの1/100)	2回(予選・決勝)	20チーム
② 2,110m 走	(中距離/ハーフマラソンの1/10)	1回	5チーム
※諸事情により、開催中止となりました。			
③ 4,219m 走	(長距離/フルマラソンの1/10)	1回	5チーム

*複数コースにエントリーされる場合は競技時間が重なるため、エントリー数と同数の機体(操縦者)をご準備ください。

○タイムトライアル制(スタートからゴールまでの所要時間(ピット作業含む)で勝敗を決定します。

○422m走に関しては、10チーム毎に予選を行い、各ブロックの上位5チームによる決勝戦を行います。
予選ブロックはエントリー期間終了後、抽選によってブロック分けを行います。

○コース素材は、養生シート(低発砲ポリウレタン)になります。またコース幅は、850~900mmとします。

○競技運営上、走行距離毎に制限時間を設定しており、マシントラブルによるメンテナンス作業や、目安走行時間内での走行ができないなど、制限時間内でのゴールが明らかに不可能であると判断された場合は、走行を中止いただくことがあります。

制限時間 :①422m:90分 ~~②2,110m:4時間~~ ③4,219m:6時間
目安走行時間:20分/100m

【開催要項】

○日時:平成23年10月29日(土)10:00-16:30

10:00 開会式
10:15 422m 走 予選 A ブロック、~~2,110m 走~~、4,219m 走 スタート
11:50 422m 走 予選 A ブロック 終了
12:00 422m 走 予選 B ブロック スタート
13:30 422m 走 予選 B ブロック 終了
14:00 422m 走 決勝戦 スタート
15:30 422m 走 決勝戦 終了
16:15 ~~2,110m 走~~、4,219m 走 終了
16:30 表彰式・閉会

○会場:ATC ホール(A ホール)

〒559-0034 大阪市住之江区南港北2-1-10

TEL:06-6615-5230

URL:<http://www.atc-co.com> (携帯):<http://www.atc-co.com/i/>

○参加料:無料(運送料・その他諸費用については各自でご負担ください)

○申込み:【方 法】メールまたは FAX でお申し込みください。

【期 間】2011年8月1日(月) から ~~10月7日(金)17時まで~~

※現在、追加募集中です。

【参加者決定】定員を超えた場合は抽選にて参加者を決定します。

○受付:2011年10月29日(土)9:00~

「大阪ロボットフェスタ 2011 会場」(ATC ホール A ホール)にて受付を行います。

ロボマラソン in 大阪 競技規則

① 参加資格

- 本大会の趣旨に同意し、参加意思のあること
- 本規則に同意し、規定等に準ずる機体を所有していること

② 機体規定

- 人型(頭、手、足の備わった)の2足歩行のロボットであること
- 屈伸動作が可能であること
- 転倒状態からの自立(起き上がり)が可能であること
- 身長 20~50 cm以内、幅 30 cm以内、奥行き 20 cm以内、体重 3 kg以内(バッテリー搭載時)の機体であること

③ 走行・操縦方法

- 左右の足が交互に出るような動作で歩行すること
- 人間による無線コントローラーでの操縦、または自律動作が可能であること
- 自律動作の為に予め準備が必要な場合(コース内にカラーテープを張り、それをトレースする 等)は、必ずエントリー時に申告し、所定のカラーでのトレースが可能となるよう、機体を調整すること
- 操縦機器についてはエントリー時に申告すること
- 競技途中での操縦者の交代は、審判に操縦者交代の申告を行った上で交代すること
- 大会当日は、通信の周波数が混線する場合は周波数の調整を依頼する場合がある

④ 機体チェック

- 競技開始前に審判により機体のレギュレーションチェックを行い、これに合格した機体のみ参加可能とする 尚、レギュレーションチェックに合格出来なかった機体については、審判により問題箇所の指摘を行い、指摘部分の改善が認められる場合は参加可能とする

⑤ レース形式

- コース内の一定エリアには操縦者スペースが設けられており、操縦者はそのスペースから機体を操縦し、操縦者以外のメンバーについては、操縦者スペースに立ち入ってはならないこととする
- 操縦者の交代については審判に申告の上、審判の許可を得たうえで交代すること
- 機体走行エリアには審判以外立ち入り禁止とする

⑥ 競技中のメンテナンス

- 競技中のバッテリーの交換や、その他機体のメンテナンスが必要になった場合は、審判に申告し、許可を得たうえで機体をピックアップすること
- メンテナンス終了後のレース復帰については、審判の確認のうえでピックアップ地点より復帰すること
- メンテナンス作業は機体のパーツ交換作業のみとし、機体本体の交換は禁止とする

⑦ ペナルティ

○走行中、下記のような他の競技者の妨害行為が発生したと認められた場合、妨害行為を行った競技者に対して嚴重注意を行う。

- ・他の機体を損傷させるような行為(故意に機体をぶつける など)
- ・進路妨害となる行為(故意に長時間立ち止まる、転倒したまま長時間動かない など)
- ・その他、スポーツマンシップに反するとみなされる行為

○注意以後も妨害行為を行うなど、改善が認められない場合は妨害を行った競技者を即刻失格とする

⑧ 競技規則の変更・追加

○競技規則に変更や追加項目が発生した場合は、その都度 HP で、最新情報についての告知を行うこととする

以上